



昭和49年

2月号

発行所 東郷町役場  
編集人

# 危険な飲酒運転

## 二月は飲酒運転絶滅月間

テレビや新聞では毎日のように交通事故発生をつたえ、多数の死傷者が出ていることをわたしたちに知らせています。しかも、事故の原因のなかに依然として酒酔い運転が高い率を占めています。酒に酔って自動車を運転することはたいへん危険なことで、重大事故につながります。

昨年二月に行なわれた飲酒運転絶滅月間中に飲酒運転で検挙された者について警察で調査したところ——たいした酔いではないのでたいじょうぶと思つた五一・七%、車は運転するがたいじょうぶと思つた三五・五%、運が悪かつたと思つている九%などの非常識な意見が圧倒的に多く、このような意識の低きではたいへんなことになります。

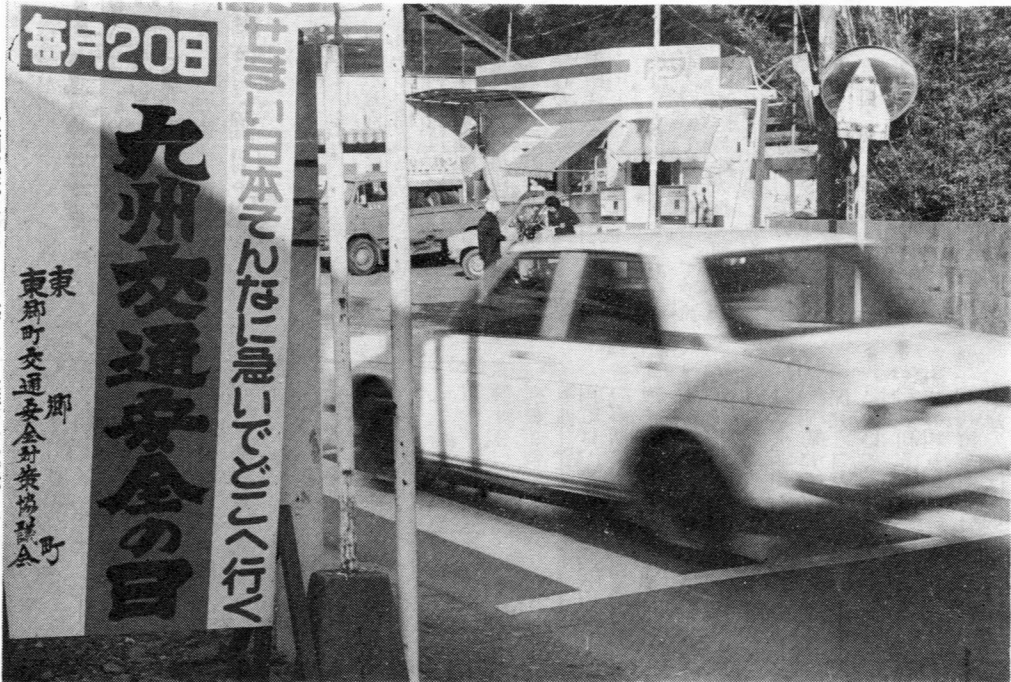
たとえわずかな量であっても、酒を飲んだときにはぜったいハンドルを握らないようにし、また家族の人、周囲の人がおたがいに注意し合つて、飲酒している人には運転をさせないようにしましょう。飲酒して車を運転すると視力が低下し、視界が狭くなります。また反応動作が鈍くなり、スピード感も劣え、気が大きくなつて無茶な運転となります。

飲酒運転を防止するためには①運転するときは酒を飲まない②酒を飲んだら運転しない③運転者には酒をすすめない——以上のことがたいせつです。

今月は「飲酒運転絶滅月間」です。家庭から職場から町内から、危険な飲酒運転を追放いたしましょう。(資料提供 日向警察署)

○……………としておくと便利です……………○

第三日曜日(十七日)は家庭の日



東郷町交通安全対策協議会  
飲酒運転はスピード感も劣え無茶な運転となる

### 点滴

#### 水不足



こよみの上で、は、春はもうそこまでやってきたというのに寒さはまだ去りません。▽昨年から今年にかけては異常な物不足がつづいています。太平洋側では雨までが不足して各地で水不足に悩んでいます。山陰農業気象観測所の記録では昨年の十一月九日に二十五ミリの雨が降ってから、カラカラ天気がつづいていましたが、七十二日目の一月二十一日にようやく二十四ミリの雨が降りました。しかし、深刻な水不足の解消とはならなかったようです。

▽町外で活躍のみなさんからたくさんの年賀状をいただきました。紙上をかりて厚くお礼を申しあげます。なお、このほど行なわれました四十八年度の宮崎県広報コンクールで、本町は努力賞を受賞しました。これからもよりよい広報紙づくりを努めたいと思います。

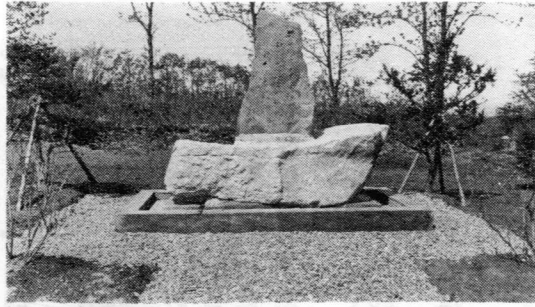
春立つとけしきは  
みたる裸木の木の  
根をあらふ岩溪の  
水 牧 水

牧水先生のとりもつ縁で

# 幕別町と友好町提携

## 二月八日東京で調印式

一月二十五日に開かれた町議会臨時会で、本町と北海道の幕別町とは、若山牧水先生の歌碑がとりもつ縁で友好町（姉妹都市）として提携することを議決しました。北海道幕別町と本町は、日本列



幕別町にある牧水歌碑

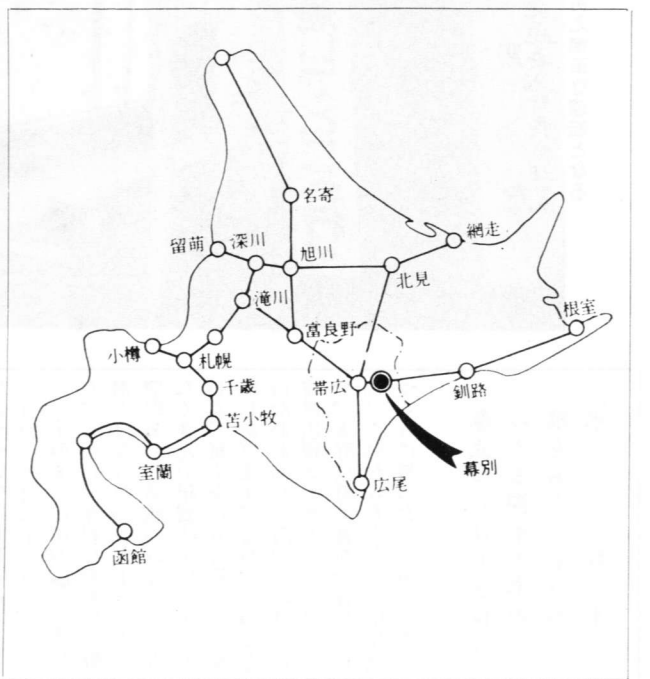
島の北と南に位置した、地勢も氣候風土もほとんど違った土地柄です。この友好町を結ぶことになったきっかけは、牧水先生が大正十五年十月に北海道の黒田温泉に旅したことを記念して、幕別町が昭和十二年に「幾山河越へさりゆかば救しきのはてなむ国ぞ今日も旅ゆく」の歌碑を建立したことに始まります。その後歌碑の所在地が道路改良工事で移転改築することになり、昨年五月その除幕式に三浦町議会議長が参列したことから急速に友好町として提携することの気運が高まりました。

幕別町は、総面積三百三十八平方キロ、世帯数四千四百十戸、人口一万八千七百四十七人で、帯広市のベッドタウンとして発展をつづけ、豆類、ビート、パレイショの産地として有名な町です。すでに、昨年十一月二十八日に幕別町から青年研修生十一人が本町を訪れ、青年同士による交換会がもたれ、産業と観光部門の交流

を深めています。本町と幕別町は、この二月八日に両町の中間地点である東京都の全国町村会館において、牧水先生に最もゆかりのある長男若山旅人さんと愛弟子大悟法利雄さんを招き、また、全国町村会の総務部長も出席し友好町提携について盟約書の調印式を行なうことにしています。今後は、文化、産業などあらゆる分野において町民こそつて交流を深め、両町間の友情と理解を深めるとともに、本県と北海道との親善友好にも寄与していきたく思います。

### 盟約書

宮崎県東郷町と北海道幕別町は日本列島の北と南に位置し、地勢及び氣候風土に著しい相違があるが、それぞれ開発の途上にあつて自然を保護し、住民の福祉増進を基調とする町づくりを進めていま



両町は、歌人若山牧水の縁深くその事蹟に機縁して友好を深め、共通する行政の向上を期することにも、文化をすすめ、地域社会の振興を図ることは両町民にとって強く希望するところでありま

- 一、両町における産業開発、観光開発と自然保護、生活環境保全についての意見交換
- 一、両町における行政活動についての相互紹介
- 一、両町間における児童生徒、青年婦人をはじめ、各種団体、町民間の交流

- 昭和四十九年二月 日
- 宮崎県東郷町長 小野 弘
- 北海道幕別町長 中島国男

## 民放テレビ中継局

### 東郷局が熊山に開局

入郷地域の各町村が建設費の一部を負担しあつて建設がすすめられていた民放テレビ中継局（MRTとUMK共用）が熊山ほか二カ所に完成しました。十二月二十八日から試験電波を発信して一月二十日から正式に開局しました。NKKテレビは、昭和四十二年度に入郷地域六町村を対象に熊山ほか四カ所にテレビ中継施設が整備され、受像が鮮明となりました。しかし、民放のMRTとUM

Kはその施設がないために難視聴の状態がつづき、テレビ時代といわれる今日、都市並にテレビが楽しめるのが悩みでした。このため、関係町村が広域市町村圏事業として民放テレビの難視聴を解消することになり、四十八年度と四十九年度の二カ年計画ですすめてきたものです。町内では六六%の難視聴が救済されます。

東郷局（熊山）の発信チャンネルはMRTが五二、UMKが五四で、いずれもUHF電波です。内容がわかる人であれば家族の人でもかまいません。

## 町民税の面接申告

昭和四十九年度の町民税の申告は次の要領でお願いします。(1) 昨年と同様に、納税者と役場税務課職員との面接により申告していただきます。面接の日時と場所は次のとおりです。(2) 各納税者には、あらかじめ簡易申告書を配布しますので、必要事項記入のうえ、面接の当日は印かん収入金や各種控除金の裏付となる資料（証明書、領収証など）をご持参ください。(3) 納税相談と申告は原則として納税者本人に限りますが、所得

### 面接申告の日時と場所

- 〔2月20日〕寺迫（庭田、長崎、吉牟田）
- 〔庭田公民館・午前9時30分～午後3時30分〔21日〕寺迫（寺迫、山ノ口、落鹿、中尾）
- 〔寺迫公民館・午前9時30分～午後4時〔22日〕福瀬（上村、下村、宮ヶ原、鶴戸木、日田尾、広瀬、鳥川）
- 〔福瀬公民館・午前9時～午後4時〔23日〕福瀬（仲野原、出口）
- 〔仲野原公民館・午前9時～午後11時30分〔25日〕小野田
- 〔役場講堂・午前9時～午後4時〔26日～3月1日〕国税および事

## 町旗の図案募集

町では町旗の図案を募集しています。締切は二月十五日（当日消印有効）で提出先は町役場総務課規格は横一・五寸、縦一寸で二色。応募作品はB4判の画用紙、裏面に縮尺、説明文、住所、氏名職業、年齢を記入してください。応募は一人一点とし、四月一日の鎮徳祭と町報にて発表します。

## 親善友好の町に

牧水先生の北海道の旅は大正十五年九月二十四日から十二月六日、沼津に帰られるまで二カ月わたる長い旅であった。この旅では、苦心して創刊した雑誌「詩歌時代」を廃刊しなければならなくなり、このために生じた負債をかえすための揮毫行脚（きごうあんぎゃ）であったから、かなり苦難の旅であったらしい。

## 町長随想

幕別町には十月十八日から十月二十二日までの五日間、登別温泉黒田旅館に滞在し、旅の疲れをいやされていたのであるが、ずいぶん粗末な宿であった。たゞ北海道行脚日記に記されている。それが不思議にも滞在中に思い出の深い湯の宿となつてゐる。幕別町ではこれを記念して「幾山河」の歌碑を昭和十二年五月三十日建立した。

その後年月は流れ、黒田旅館は跡もたもなくなくなり、また道路の事情もあつて町では牧水先生が朝な夕な散策した遠く日高の山脈を眺める温泉坂の登り口に移転、昭和四十八年五月三十日鎮座式を挙げていたのである。この式典に三浦議長と私が招待されたのであるが、私は都合で出席ができず、議長が出席し

た。この以前に幕別町から副議長と企画課長が来町され、そのころから姉妹町として親善友好の結びをしようという話が起つたのである。鎮座式に出席した議長は幕別町で歓迎をうけ、その機運は急速に上昇した。十一月二十七日に幕別町から総務課長外五人の職員が来町され、いよいよ姉妹町提携について具体案をつくることになり、一月中に両町で議決、東京において調印ということになった。くわしくは十二月五日の全国町村村長大会で、両町長が決めるといふことになり、幕別町の町長代理として出席された助役と打合わせした結果、一月二十五日に議決、二月上旬に全国町村会館で調印ということになった。その後の打合わせで二月八日に盟約書の調印と決定した。



### 異動届出は早目に

#### 手続きには保険証持参のこと

先月号で、社会保険に加入しているが国民健康保険で治療を受けている人の多いことをお知らせしましたが、今月は、なぜそのようないふことが起るのかを考えてみましょう。

#### 国保加入は世帯で

国保では、加入は世帯ごとになります。加入世帯の被保険者は、世帯主であるか家族であろうと、一人ひとりが被保険者であり、保険料を納める義務があります。ですから、その被保険者に出生や死亡転入、転出、他保険への加入、生活保護の開始などの変動があったときには、すぐに届出をして訂正を受けなければなりません。

この「届出をしない、届出が遅れる」ことによって、国保で負担しなくてもよい医療費まで支払うことになり、ひいては保険税の引上げという形で損害が被保険者にはねかえってくることとなります。

#### 高くつく医療費

今までの例では、社会保険に加入してありながら一年も遅れて届出をした例がありました。なぜ一

年も遅れたかという点、病院の窓口で支払う一部負担金が社会保険では五割であるのに国保では三割ですむので、国保で治療を受けた方が「とく」だからという理由です。

このときの被保険者一人当りの税額は約五千円、そして医療費の保険者負担(七割)は一万四千円でした。いかに医療費が高くないかをおわかりでしょう。

また、社会保険に加入申請をするとき、保険証が交付されるまでに約一カ月かかります。その間の医療費は国保でみえますが、社会保険証を受けとって届出をしたときには国保でみえませんが返納しなければなりません。これをこのままにしてしまっても多いのです。

#### 三月に保険証検認

保険証の有効期間は二年間ですが、無効の保険証を回収したり、被保険者の資格を正しく確認するために一年目に検認をします。いま使っている保険証は昭和五十年三月三十一日まで有効ですが、この三月三十一日までに検認を受けなければ、四月一日以降は使用できません。検認の日程などは

### 49年度の小学校一年生

あらためてお知らせしますので、保険証を病院にあずけている人や遠隔地証などの交付をうけている人は早目に手元に回収しておいてください。

町教育委員会が住民基本台帳に基づいて調べた、昭和四十九年度に新しく小学校に入学する子どもは次のとおりです。(昭和四十八年十二月一日現在調べによる)

- 新しく小学校へ入学するのは昭和四十二年四月二日から昭和四十四年四月一日までの間に生まれた子どもです。ここに名前のない人は保護者が直接または電話で教育委員会事務局までお申し出ください。
- 〔東郷小〕小野田田中真波(ツタ子長女) 田中功(寿二男) 畝原恵美(光義二女) 永岡和典(明長男) 小山章子(幸男長女) 都甲忠弘(祐吉二男) 肥田明美(良一長女) 安田育子(耕作長女) 黒木守道(正二二男) 橋口美穂子(初美三女)
  - ▽鶴野内宮崎泰弘(明弘長男) 黒木美香(刀二女) 林ルミ子(朝夫長女) 畝原寿子(満子二女) 中野恵美子(繁可二女) 伊東郁美(征男長女) 平野夏美(隆長女) 中田睦(辰巳二女) 西口由美(幸三二女)
  - 田辺徳之(伊三郎長男) 伊東香代(尚長女) 今井房美(主税長女) 古川良人(虎夫三男)
  - ▽迫野内佐藤節代(正一長女) 木村幸子(平秋長女) 黒木八重(一希長女) 森本喜美(忠作二男) 吉田潤子(康徳長女) 藤田末子(一夫四女) 前田祥子(福美長女) 黒木寿恵(忠光長女) 浜田由美子(正義長女)
  - ▽八重原藤崎美智代(砂男長女) 稲田久美代(茂長女) 稲田小百合(護長女) 奈須久仁子(平美二女) 田村五月(寿士二女)
  - ▽田野小野幸治(三千樹長男) 三浦栄(盛治三男) 稲田千鶴(豊四女)
  - ▽羽坂清水美紀(良幸二女) 寺原智子(昌平長女) 小林恵子(猛長女) 寺田誠(和洋長男) 藤井武士(義久長男) 福岡優美(修長女) 若藤美紀(健長女)
  - ▽仲深桑原智春(貞信長男) 日吉美栄(節美三女) 甲斐由美(善重郎二女) 岩野俊彦(節子長男) (福瀬小) 福瀬田村美智代(留夫二女) 関野幸一(早見三男) 直野由美(光吉二女) 関野隆志(富子長男) 関野由美子(和男長女) 新名博(正幸長男) 山田互(緑殿長男) 鶴田美恵(久二男長女) 小林由里(国光長女) 小林知利(博長男) 長渡康司(敬夫三男) 長渡誠(誠也二男) 新名英明(甫史二男) 海野美奈子(五三長女) 高藤清江(正子二女) 岩田嘉和(嘉夫長男)
  - 〔坪谷小〕仲深田口克彦(紘一郎長男) 荒砂英人(成男長男) 三浦祥子(嘉郎二女) 三浦恵(清子長女) 酒井由美(兼一長女) 日高勝晴(富士夫長男) 清水幸子(辰夫長女) 矢野浩光(明二男) 日高美穂(一男長女) 三河政子(政三二女) 日高光代(善雄長女) 山口拓志(忠男長男) 中野路(拓郎長男) 大石美加(敬夫長女)
  - ▽坪谷近藤明浩(強長男) 山本麻文(一正長女) 矢野知奈美(知長女) 稲田千代(八郎長女) 栗本直美(正孝長女) 稲田由里(英雄三女) 那須由紀(泰彦長女) 那須利彦(良臣長男) 矢野のり子(松衛二女) 那須紘之(武義長男) 海野清美(新明二女) 寺原由香(東長女) 下田智(宇右衛門三男)
  - ▽瀬平那須寿代(俊二女) 海野達也(哲也三男) 海野二美代(豊吉二女)
  - 〔越表小〕越表川上伸一(静徳長男) 柳生雄一郎(重統長男) 河野達雄(剛二男) 河野純一(真幸三男) 山本正和(達雄長男) 河野由里(明展長女)
  - ▽下渡川日高真一(清長男) 山床広美(勝徳長女) 福川一秀(秀義長男) 甲斐道広(進長男)
  - 〔寺迫小〕寺迫黒木重文(康義二男) 河野タミ子(宝長女) 山本貴子(忠男長女) 萩原亜矢子(知鶴夫二女) 長池美智子(義則二女) 黒木香代子(征子長女) 黒木二三四(鉄夫二女) 黒木和博(元治長男)

### 恒例の消防始式

#### 第十部が二種目優勝

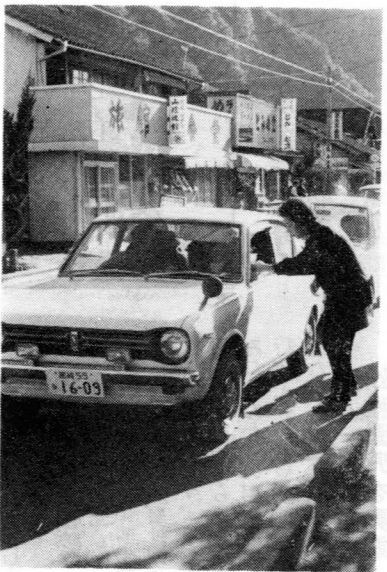
一月八日に恒例の消防始式が町総合グラウンドと森林組合下の耳川河原で行なわれ、団長以下三百四十六人の消防団員が町長から点検をうけました。今年は、石油危機から長年行なってきた小型ポンプによるいっせい放水は中止し、燃料節約につとめました。

成績は総合の部と発水競技の部で第十部(田野)が優勝、操練の部で第七部(寺迫)が優勝しました。閉会式で優良消防団員として県知事、県消防協会長、同日町支部長、町長、団長から表彰がありました。また、日向警察署から第二部(福瀬)に、町長から八重原婦人会にそれぞれ感謝状が贈られました。



### 町婦協がコーヒー接待

眠気さまして安全運転を



年末の十二月二十五日に町婦人連絡協議会(寺原広子会長)が八百人)が国道三二七号線の役場入口付近でドライバーにコーヒーの接待をしました。この日は寺原会長ら三人が午前九時から午後三時までの時間、日向警察署の協力を得て、約四百杯のあたたかいコーヒーを接待するとともに、交通安全チラシを配布しました。

年の瀬のあわたたしい時期だけに、つい急ぎがちのドライバースも思わぬ眠気さましてのコーヒーにたいへん喜んでいました。

町婦人連絡協議会では、交通安全全は主婦の手で...というところから年間活動の一つとしてすすんで交通事故の防止につとめています。

### 郷土のあゆみ(14)

#### 塩月儀市

#### 十江戸時代(三)

内藤氏拜領諸村高帖に「山陰村高一六一二石四升八合七勺、八重原高二三三石九升四合」とあり「幕領地坪谷村は高二四二石九斗二升八合二勺、下三ヶ村高一六石八斗四升」でした。

延岡藩は基本的農民を一律につき高十石を単位として割付耕作させましたが、これを「高十石割」といいました。割付に当たってはくじ引によって耕地を定めましたのでくじ割、またはくじ替ともいいました。

耕作者の納税率は、だいたい五公五民とされましたが、七公三民以上の過酷な税が課せられることもあって、農民の生活は窮乏でした。衣類はひとえ、あわせ、羽織各一枚で、常食は朝と昼は米、麦、あわなどの混食夕は小麦だんご、そばが原則でした。

慶安(一六五〇)のおふれ書に「一、酒茶を買ひのみ申すまじく候  
一、百姓は麦粟稗菜大根そのほかかなににても雑穀を作り米を多く食いつぶし候はぬこと  
一、百姓は衣類の儀布木綿より外は帯きもの裏にもつかまつるまじきこと  
とあります。

農民は田植えや取入れはたがいに助け合い、また村のことは寄合を開いて相談して決めました。そのきまりにそむきますと村八分にされました。こうした農民の生活は苦しくて、正月やお盆、村祭りがせめてもの楽しみでした。

一方では農業の技術は進みました。土地を深く耕す備中くわや脱穀用の千歯こぎなどの農具が発明され、肥料にはほしか、なたねの油かすなどを使用するようになりました。新しい作物として、なたね、あい、かぼちゃ、いぐさ、たばこ、きつまいも、綿、麻などが作られ、また養蚕も盛んになりました。

延岡藩は寛延元年(一七四八)に商業、漁業を鑑札制とし、宝暦三年(一七五三)に幕府の許可を得て銀札を発行して領内の通貨としました。また文化六年(一八〇九)は奢侈禁令を出し、参宮、湯治を三年間禁止し、衣服は一切綿布とし、雪駄(せつた)、日がきを禁じました。

文政元年(一八一八)には特に節約について合示して、供応を廃し、婚礼、葬儀ともいっさいの費用を省き、音信、贈答、みやげ、せんべつなど親子兄弟の外はやりとりならぬこととしました。

### お知らせ



### 20日中央公民館で 知事を囲む座談会

二月二十日に黒木知事が来町して「知事を囲む座談会」が開かれます。黒木知事は午前中に町内を視察されたあと、午後一時三十分から午後四時まで中央公民館で県政一般について町民のみなさんと座談会に出席される予定です。

この日は、誰でも自由に参加して意見などを述べることができますので、多数のみなさんが出席されますようにお知らせします。

### 26日に行政相談

二月二十六日の午前十時から午後三時まで、老人福祉館で行政相談が行なわれます。この日は、宮崎行政監察局から係官が来町してみなさんからの相談に応じます。行政上の苦情や要望のある人は遠慮なくおいでください。

### 幼稚園児を募集

東郷幼稚園の園児を次のとおり募集していますので、希望者は二月九日までに町教育委員会宛申込んでください。

**入園資格** 町内の通園可能な地区に居住する小学校就学前の満五歳の幼児（昭和四十三年四月二日から四十四年四月一日までの間に

### 手まめに消そう 不要な電気



二月一日から二十八日までの一カ月間、県と市町村の共催で県下いっせいにねずみ駆除運動が行なわれます。

ねずみの駆除は地域ぐるみで集団駆除をやるのが最も効果的です。この期間中に町では殺そ剤を

### 殺そ剤をあつせん

申込者が定数をこえる時は三月中旬に選考委員会を開いて入所の適否を決定し、各人へ連絡する。

### 入所決定

入所を希望する幼児の保護者は保育所に準備してある願書用紙によつて、三月三十一日までにそれぞれの保育所に申込みこと。

### 入所資格

母親が出産、病気、その他の理由によつて、家庭での保育に欠ける三歳から五歳までの幼児。

### 願書受付

鶴野内保育所 三十人  
坪谷保育所 六十人

### 募集人員

### 保育所園児を募集

町立の鶴野内と坪谷の保育所でたがいま園児を募集中です。

### 善意のともしひ

特価であつせんしますので、組合長を通じて申し込んでください。価格は一袋六十五円で、申込先は住民課保健衛生係です。

### 戸籍たより

十二月届出分

### 出生 おめでとう

赤ちゃんの名	父の名	部落
橋口 一徳	一雄	小野田
山口 敦	智	坪谷
岩見 真次	夫	鶴野内
日高一彦	善雄	仲深

### 結婚 おめでとう

甲田 斐代	弘栄	子活	寺迫
黒笠 木瀬	美千代	日向市	日向市

### ご冥福を祈ります

氏名	年齢	部落
日高 勢留	六八	仲深
吉岡 ミヨ	七八	寺迫
小林 トヲ	八一	福瀬
海野 家義	六四	坪谷
塩月 トメ	八三	福瀬
山本 トメ	七三	仲深

人口	現在	対前月比
男	3,392人	(+18)
女	3,658人	(+5)
総数	7,050人	(+23)
世帯数	1,774世帯	(+3)

これらのご寄付は各種福祉事業のために有意義に役立たせていただきます。どうもありがとうございます。

東郷町社会福祉協議会

今月の納税  
固定資産税 四期  
納期 二月二十八日